

⑥ 地下水集排水施設の構造計算

(1) 設置の目的

地下水集排水施設は、以下の事項を目的として設置する。

- ① 地下水や湧水中で土壌ガスが発生し、この揚圧力によりしゃ水工を破損することを防止する。
- ② 地下水位の上昇により、地山がゆるみ崩落やすべりを誘発することを防止する。
- ③ 地下水の水質（塩化物イオン濃度、電気伝導度、等）を監視することでしゃ水工の漏水が検知できるため、地下水を集水する。

(2) 設計基準

「最終処分場の計画・設計要領」（社団法人全国都市清掃会議）に準拠し、配置及び管径の検討を行う。

(3) 施設諸元

地下水集排水施設の主な施設諸元を、以下に示す。

表 1 施設諸元（地下水集排水施設）

分類	仕様・規格	機能	数量
地下水 集排水工	幹線（φ300 無孔管） 高密度ポリエチレン管	処分場底部からピット まで導水する。	104m
	幹線（φ400 無孔管） 高密度ポリエチレン管	ピットから防災調整池 まで導水する。	33m
	幹線（φ300 有孔管） 高密度ポリエチレン管	埋立地底部において地 下水集水する。	108m
	枝線（面状排水材）	埋立地法面部において 地下水を集水する。	298m
地下水集水 ピット	鉄筋コンクリート造 H=10.5m		1基